



西溪公園内の桜まつりにあわせ、寒鶯亭で3月28日から4月4日まで行われた『多久城下ひなまつり』は、隅々まで飾られた雛人形と桜の饗宴で、多くの人をうっとりさせていました。

## おひなさまと素敵な演出にうっとり

### 多久城下ひなまつり

多久町家庭婦人学級「すみれ学級」と西多久町女性学級が主催するひなまつりは毎年好評で、今回は8日間と期間延長。昭和初期から現在までの絢爛豪華な段飾りや地元保育園のかわいい作品など100点以上が飾られた室内は、やわらかな灯りやフラワーアレンジメント、吊り下げられた手づくりの「さげもん」、琴の演奏などの魅力的なおもてなしがいっぱいでした。参観者は「細部まで行き届いた演出で、見るのものを心をとらえます。桜と一緒に楽しめるので嬉しい」と話し、心なやましていました。



新しく生まれ変わろうとしているJR多久駅周辺で3月28日、『TAKU駅前元気まつり』が行われました。多久駅の北エリアは商工会に加盟する店主らが、南エリアは地元の若者有志らが企画。どちらも市内外から訪れた3000人を超す人たちで賑わいました。



## 人々や商業の元気を次代へ発信

### TAKU駅前元気まつり

「なつかしの昭和レトロゾーン」の北エリアでは、おいでんさいカード店会の大抽選会に行列ができ、すしバーガーやぼんちゃん、カレーなどが集まったB級グルメでは売り切れ続出で、追加対応するも早々完売の嬉しい反響。リズムダンスやよさこいなどのステージイベントや30ブースが並んだフリーマーケットなども人気を集めていました。

南エリアの「多久の若者・子育て世代集まれゾーン」は、ミニ動物園やボールプールに子どもたちが満面の笑顔。心も体も踊るBGMが流れるステージでは、ファッションショーやストリートダンスなどが繰り広げられ、流行を先取りしたコーディネーターや親子のファッションスタイルなどおしゃれのポイント紹介や、軽快なダンス披露に、大きな拍手が送られていました。

来場者は「芝生広場や河川敷きなど子ども連れでもゆっくり遊べる心地いい場所もあって、まつりのおかげで新しい発見ができたし、こんなに集まった人や笑顔に感動した」と話し、まつりを楽しんでいました。



桜  
いつしよに  
笑顔  
咲く